



のべおか 市議会だより



第74号

平成30年2月1日発行
(2018年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1
TEL(0982)22-7029



完成間近のエンクロス
(延岡市駅前複合施設)

主な掲載内容

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ◆議員定数を2名削減……………2 | ◆市長に政策提言……………2 |
| ◆12月議会で決まったこと……………3 | ◆おもな議案の委員会審査報告……………4 |
| ◆市政を問う(一般質問)……………5~7 | ◆議会活動報告会を開催……………8 |
| | 編集後記等……………8 |



議員定数の2人減を決定！

次回の市議会議員選挙から延岡市議会議員の定数が29人から27人になります。

延岡市議会では、12月定例議会において、議員定数を現行の29人から27人とする延岡市議会の議員の定数を定める条例の一部改正案を賛成多数により可決しました。

本案は、議会のあり方検討特別委員会、財政状況や雇用状況等の調査、類似都市への視察調査、市内の各種団体との意見交換等を考慮しながら慎重に検討が行われた上で提案されたもので、平成31年4月に予定されている次期市議会議員一般選挙より適用されることとなります。

また、特別委員会では、議員定数のほか、議員報酬、費用弁償、政務活動費のあり方についても同様に検討を重ねてきましたが、議員報酬、費用弁償については現状維持。政務活動費については、制度設計に関して十分な検討が必要であること等から現時点での支給は見送るべきとの結論に至りました。



同条例案の採決の様子

議会が市長に政策提言

11月28日に議長、副議長、政策提言議員協議会の代表幹事、副代表幹事など7名で市長に提言を行いました。この提言は、平成30年度以降の市政運営に対する議会としての意見や要望をまとめたものです。提言内容は次のとおりです。

1. 北浦総合支所の支所機能を含めた防災体制の推進に向けた総合的な検討の速やかな着手

- (1) 北浦総合支所を含めた各総合支所の今後の位置づけや担うべき役割及び組織体制や人員体制について
- (2) 北浦総合支所の耐震診断の実施の検討及び現施設の補強について
- (3) 平成32年度に終了予定の緊急防災・減災事業債を活用した移転に関する調査について

2. 放課後児童クラブの体制の充実に向けた総合的な検討の速やかな着手

- (1) 各児童クラブの設備及び備品に関する状況調査及び必要な予算の確保に努めること
- (2) 放課後児童クラブ支援員の労働環境や業務内容等の状況調査及び運営形態ごとの調査・研究を行い、問題点の改善に努めること
- (3) 多子世帯・生活困窮世帯等に対する利用料の減免措置等の調査・研究を行うこと



首藤市長に提言書を渡す佐藤裕臣議長

※内容は市議会のホームページに掲載しています。

12月議会で決まったこと

12月議会では、一般会計補正予算など35件の議案と意見書1件を可決し、3件の報告を受けました。また、一般質問では3日間で14名が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、防災対策や観光振興、子育て支援、水道料金改定など多岐にわたる質疑が活発になされました。

議案と報告などの一覧

議案
平成29年度延岡市一般会計補正予算 外 補正予算 5件
延岡市個人情報保護条例及び延岡市情報公開条例の一部改正
延岡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
延岡市水道事業給水条例の一部改正
延岡市駅前複合施設条例の一部改正等
延岡市企業立地促進条例の一部改正
宮崎県自治会館管理組合の解散に関する協議
宮崎県自治会館管理組合の解散に伴う財産の処分に関する協議
宮崎県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更、宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び宮崎県市町村総合事務組合同規約の変更に関する協議
財産の取得(化学消防ポンプ自動車購入)
財産の無償譲渡(北川町祝子川地区保安林)
市道の路線廃止(石田伊形線 県道移管協議に伴う路線廃止)
市道の路線認定(石田伊形線 県道移管協議に伴う路線認定)
議決事項の一部変更(延岡市駅前複合施設建設電気設備工事)
指定管理者の指定(延岡市恒富南コミュニティセンター)
指定管理者の指定(延岡市中小企業振興センター)
指定管理者の指定(延岡市かわまち広場)
指定管理者の指定(延岡市北川老人福祉館)
平成29年度延岡市一般会計補正予算(二次分) 外 補正予算 5件
延岡市一般職職員給与条例の一部改正
延岡市特別職職員給与条例の一部改正
延岡市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
教育委員会委員の選任(田中 ヨシ子氏)
固定資産評価審査委員会委員の選任(馬場 愛子氏)
延岡市議会の議員の定数を定める条例の一部改正【委員会提出議案】

報告案件

専決処分の報告(負傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定) 外 専決処分の報告 2件

陳情

「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出に関する陳情(継続審査)
延岡市議会議員の定数・報酬の削減及び費用弁償の見直しを求める陳情(不採択)

**意見書を
国に提出!**

延岡市議会では本市だけでは、解決できない課題について、地方自治法に基づき、関係機関に意見書を提出しています。12月議会では左記の意見書を可決し、国に提出しました。

道路予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

現在、道路事業においては、道路財特法の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率が高上げされているが、この措置は、平成29年度までの期限措置となっている。

国においては、道路整備を引き続き推進するため、道路整備予算の総額確保はもとより、道路財特法の規定による補助率等の高上げを平成30年度以降も継続するとともに、地方創生に資する道路整備の推進が図られるよう、さらなる拡充措置を講じられるよう強く要望する。(一部抜粋)

12月定例議会のおもな議案の委員会審査内容の一部を報告します!!

議案の概要や委員会での市当局との質疑・応答等を掲載します。

延岡市水道事業給水条例の一部改正(都市建設委員会審査)

概要

人口減少等に伴う給水収益の減少、水道施設更新の必要性及び耐震化費用の増大化など、本市の水道事業の状況悪化を踏まえ、平成29年7月、地域の有識者等からなる「延岡市水道事業経営懇話会」を設置。平成29年10月30日、同懇話会が提出した「延岡市水道事業経営に関する報告書」にて、早急な水道料金体系の見直し等の適正化の必要性があるとの意見が示されたことを受け、その意見を尊重し、水道料金の改定を実施するもの。

料金の平均改定率は現行比14.9%増。生活弱者等への配慮として、単身の高齢者等が多く含まれると推測されている口径13mm及び20mmについては、基本料金の改定率を現行比8%増としている。改正条例は平成30年7月1日施行(平成30年7月1日以後の検針分から料金改定を実施)。

主な質疑・応答

問 法定耐用年数が過ぎた水道管でも工夫することで法定耐用年数より長い期間使えないのか？

答 水道管の種類によっては70年から100年使えると判断しているが、一方で、接続部に接着剤を使用しているもの等は耐震性能に問題があり、法定耐用年数通りとしか判断できないものもある。

問 今後安定した経営が維持できるように料金見直し体制や時期については、どのように考えているのか？

答 来年度からの収納業務の民間委託に伴い、組織体制の変更を予定しており、その中で業務の一環として、経営分析を行う体制を構築し、料金体系改定の必要性などの検討を毎年行っていきたい。

問 料金改定となった場合の周知の方法については、どのように考えているのか？

答 複数回にわたる広報のべおかでの説明や、水道メーター検針の際における世帯ごとのチラシ配布、さらにケーブルテレビやホームページの活用といった方法により周知を図っていきたい。

委員会 審査結果

この他にも質疑応答が行われたあと、委員間で討議が行われ、「市民への丁寧な周知」や「将来を見据えた経営判断」に関する意見など種々の議論が交わされました。

その結果、委員会としては、「当局としても、厳しい財政状況の中、これまでも組織見直しによる職員の減員や、業務効率化を図るための各種システムの導入、直営業務の事業委託など、あらゆる経営努力は行っており、ライフラインとしての水道事業継続のために料金を引き上げることがやむを得ないものとする。ただし、料金引き上げの際には市民への丁寧な周知が必要であり、今後の水道事業の運営にあたっては、適切な事業運営に努めるとともに、経営分析に基づく定期的な料金見直しを行っていくべきである」との意見が大勢を占め、本案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本会議 審査結果

賛成多数により原案のとおり可決しました。

市政を問う!!

12月5日	 松田 満男 議員(自民党さずなの会) ●総括副市長の職務 ●後継者問題 ●西郷どん 他	 本部 仁俊 議員(友愛クラブ) ●市政連絡員報酬 ●かわまち広場の活用 ●全国学力テスト 他	 太田 龍 議員(社民党市議団) ●水道料金の改定 ●消防力の充実 ○新地域支援事業の方向性 他
	 早瀬 賢一 議員(友愛クラブ) ●ごみステーション管理 ●国道10号への接続 ●西階陸上競技場の改修 他	 佐藤 誠 議員(自民党さずなの会) ●収入未済額の解消対策 ●外国人実習生支援 ○事業系一般廃棄物処理 他	
12月6日	 三上 毅 議員(公明党市議団) ●ピロリ菌検査の費用助成 ●マイナンバーカードの利用 ●防災教育の充実 他	 北林 幹雄 議員(自民党さずなの会) ●曾立谷川の内水対策 ●植林促進の戦略 ●西郷資料館の休憩所 他	 甲斐 行雄 議員(友愛クラブ) ●エンクロスの駐車場対策 ●屋根付き運動場の建設 ○ドッグランの整備 他
	 吉本 靖 議員(友愛クラブ) ●野良猫対策 ●城山公園駐車場 ○乳幼児等医療費助成 他	 田村 吉宏 議員(友愛クラブ) ●避難者カードについて ●産業廃棄物の処理 ○食品廃棄物削減活動 他	
12月7日	 上田 美利 議員(自民党さずなの会) ●東九州バススク化構想 ●鮎やな ●県立体育館 他	 平田 信広 議員(日本共産党) ●子育て支援 ●市営住宅の入居条件 ●介護保険制度の見直し 他	
	 松本 哲也 議員(社民党市議団) ●自殺対策 ●北川の堆積土砂等の除去 ●水門等の操作 他	 小田 忠良 議員(無所属) ●延岡市駅前複合施設の委託料 ●新庁舎高層棟の基礎杭工事 ○東海中屋内温水プール 他	

議員14名が 一般質問

※質問の一部を掲載します。
※○は未掲載

12月5日質問

総括副市長の職務

【問】副市長としての市政推進への思いは。

【答】市長のまちづくりビジョンを実現することで、東九州の基幹都市として輝き続けることを願い、補佐役としての職務を努めてきた。

後継者問題

【問】中小企業等における後継者問題は。

【答】県よろず支援拠点やスタートアップ支援センターなど専門的な支援機関との適切な役割分担のもと、一体となって中小企業の事業継承支援に取り組みたい。

西郷どん

【問】観光消費額の増加策は。

【答】西郷隆盛ゆかりの地や市内への回遊を図り、観光消費額を増加させることは重要。観光バスでの誘客、宿泊型ツアーの充実等に努める。

市政連絡員報酬

【問】報酬の単価の根拠と報酬に関する所見は。

【答】市政連絡員の報酬は、県

内他市の状況等を参考にしている。現時点では妥当な金額と考えているが、今後は、県内他市の動向等を見極めていく。

かわまち広場の活用

【問】賑わいの拠点としてのかわまち広場の活用は。

【答】かわまち広場は建物の「かわまち交流館」と河川敷の「かわまち広場」の一体的活用で賑わいの創出が出来る。今後とも関係団体と協議して賑わいのある拠点を目指す。



かわまち広場のかわまち交流館
外観完成予定図
(大瀬大橋下流河川敷地)

全国学力テスト

【問】全国学力テストの調査結果を受けての課題は。

【答】小中学校とも基礎的・基本的内容の定着や活用する力の育成、家庭学習の充実等が課題と考える。

水道料金の改定

【問】平成5年以來の値上げ

改定は市民の反発が大きい。この時期の必要性和判断は。

【答】耐用年数を経過した水道施設の更新需要が増大し、耐震化も課題。人口減少による給水収益も減少する中、将来に向けて安定した経営基盤を維持し、いつでもおいしい延岡の水の安定供給のために改定を決めた。

消防力の充実

【問】消防力とは「人・機械・水」と言われる。本市消防職員は条例定数170人に対し166人で、出向等で実働人数は少ない。消防力の整備指針では何人か。最低でも条例定数は確保すべきでは。

【答】指針では243人。地方交付税の基準財政需要額の算定では職員数は概ね充足している。今後も財源の確保や柔軟かつ適正な人員配置に努める。

ごみステーション管理

【問】適切なごみステーション管理に繋がる防犯カメラの設置は。

【答】低価格で設置も簡単なトレイルカメラの来年度導入に向けて検討している。

国道10号への接続

【問】延岡警察署前交差点から国道10号までの道路整備は。
 【答】提案ルートは困難と判断しているが、市道薬品工場南通線の安全対策を最優先課題と捉え、道路拡幅を進めている。

西階陸上競技場の改修

【問】県大会レベルの大会運営や大きな大会誘致につながる大幅なリニューアルは。
 【答】陸上競技協会やサッカー等の関係団体と協議を行いながら適切に対応したい。

収入未済額の解消対策

【問】合併10年を経過し地方交付税も削減されることから歳入歳出の適正な事務処理が要求されるが、対応策は。
 【答】市税においては、今年度も差押や公売会など行政処分の強化に取り組んでいる。また、関係課室を対象に公金債権徴収の取扱状況について実態調査を実施し、債権管理条例の制定も検討している。

外国人実習生支援

【問】島浦町漁協の外国人支援

体制は満足のいくものではない。日向市、日南市に準じる支援体制は。
 【答】本市では家賃1万5千5百円の公営住宅の空室の提供を行っている。引き続き、船主の外国人研修生受け入れに係る負担の軽減を行う。

12月6日質問

ピロリ菌検査の費用助成

【問】スピード感を持って関係機関との協議を進めたいとのことだったが、実現は。
 【答】全体的なスケジュールの検討を行っている。すべての環境が整い次第、実施したい。

マイナンバーカードの利用

【問】カードを提示することで、銀行と提携してのローン金利を優遇するとか、ヘルストピアの料金を割り引く等、優遇される取り組み等は。
 【答】どのようなメリットを付与することができるか、前向きに検討している。関係課室等とも協議したい。

防災教育の充実

【問】「防災ノート」を作成活用しての防災教育に取り組んでいる。
 【答】自分の命は自分で守る子どもたちを育成するため今後研究する。



青森県八戸市で防災教育に活用されている防災ノート(小学生上学年版)

曾立谷川の内水対策について

【問】2年連続の洪水で内水氾濫した曾立谷川の抜本対策について年内に結論を出すとのことだが、その対策は。
 【答】曾立地区は市の管理する曾立谷川、県の管理する北川、国の管理する国道10号に囲まれた地形となっており、国・県に協力をいたいただき北川の堤防と同じ高さまで谷川の堤防を嵩上げる案を軸に対策を行う。

植林促進の戦略

【問】今後の市の植林促進の戦略は。
 【答】再造林バンクの構築を目指す。

指しており、持続的に植林ができるように取り組む。

西郷資料館の休憩所

【問】資料館の一角に休憩所を作っては。
 【答】来場者の休憩所の設置を検討していく。

エンクロスの駐車場対策

【問】エンクロスを起点とした駅と周辺の賑わい創出のための駐車場対策は。
 【答】150台分の市営駐車場が確保されるが、利用者の推移を踏まえながら、民間による駐車場整備を誘導する形で、必要な駐車場の確保に取り組みたい。

屋根付き運動場の建設

【問】西階運動公園は大規模災害時の後方支援拠点であり、屋根付運動場ができれば、多目的な活用が可能になるが。
 【答】大規模災害時の復旧のための資機材、生活物資の中継基地等の機能を備えた屋内施設の役割は大きい。雨天時のスポーツ競技だけでなく、多目的活用が可能となる。今後事業化の可能性を検討したい。

野良猫対策

【問】多くの苦情を聞いているが、野良猫対策の現状は。
 【答】猫自体が動物愛護法の対象となつていることから、その対応に苦慮している。今後とも、延岡保健所と連携し、迷惑のかわらない正しい飼育方を指導・啓発したい。

城山公園駐車場

【問】午前9時開場だが、早く開けられないか。
 【答】早朝の騒音に対する周辺住民への配慮や、近隣事業所等への通勤者などによる迷惑駐車等の排除対策を踏まえ、公園利用者の駐車場として機能するため午前9時開場としている。

避難者カード

【問】発災時の非常持ち出し品として市民が事前に記載し、避難時の非常持ち出し品として準備しておくと思うが。
 【答】日頃から非常持ち出し品と同様の準備をしてもらうことで様々な場所で避難している方々の状況把握等に活用できないか研究する。

産業廃棄物の処理

【問】事業系廃棄物の取扱い変更の対象となる事業者への支援は。

【答】産業廃棄物の正しい処理は、事業者が負担を伴うが、廃棄物の資源化を大きな目標としているため、事業者が組織資源化の努力は非常に大切である。それを活かすことについて、今後も関係者との協議を引き続き進めていく。

12月7日質問

東九州バスケット化構想

【問】バスケット化構想が一次産業に与える効果は。

【答】本構想の地産地活により、料理人を始め市民にも広く一次産業のすばらしさを周知する。また、産業拡大、高品質化、産地化を図り、一次産業の活性化につなげる。

鮎やな

【問】鮎資源の回復状況とやな架設補助金の今後は。

【答】鮎資源開発プロジェクトにより、生息尾数は増えており、観光経済効果は高まっている。伝統鮎やなを継続しつ

つ、補助金の見直しを行う。

県立体育館

【問】県立体育館建設後の市民体育館の活用は。

【答】県庁内関係課室・基本計画策定委託業者との協議の中で重要課題として協議している。



現在の市民体育館

子育て支援

【問】子育て支援として、歯科受診の助成の取り組みは。

【答】論理的な提案で実現しやすい部分である。研究し検討していきたい。

市営住宅の入居条件

【問】現在は連帯保証人が2人必要だが、民間のように1人でも入居できるように緩和措置はできないか。

【答】他市の取り組みを参考に今後検討したい。

介護保険制度の見直し

【問】来年度は、制度見直しの

年で保険料も見直しが行われる。保険料は市民から悲鳴のような声を聞くが改定の見直しは。

【答】現在、国で議論が行われており、内容が示されていない。引き上げの可能性は考えられるが、動向を注視している。

自殺対策

【問】自殺対策の取り組みは。

【答】毎年9月の自殺対策強化月間に啓発ポスター等の特設展示を行うなど、心の健康に関心を持つよう啓発に努めている。

北川の堆積土砂等の除去

【問】北川河川敷内に土砂等が堆積している。河川激特事業により取り組めないか。

【答】今回の被害状況は採択要件を満たさない。土砂浚渫は、水位通減に効果があるため、しっかりと取り組む。



北川河川から流れ家田霞堤に堆積した土砂や流木等

水門等の操作

【問】水防法等の改正で操作員の安全確保が明記された。遠隔化等への対応は。

【答】直接、水門操作を行うことが原則であるため、管理者である国・県に対し、遠隔操作化などの改善・改修要望を毎年行っている。

延岡市駅前複合施設の委託料

【問】指定管理者であるカルチュア・コンビニエンスクラブへの指定管理委託料が示されていないが。

【答】平成30年4月1日から管理運営業務が開始される予定となっている。3月議会において当初予算として提案する予定である。

新庁舎高層棟の基礎杭工事

【問】高層棟南端と低層棟北端の間隔はわずか4mなのに、杭同士の岩盤は1mから8mも違っている。高層棟の杭が支持層に達しているという事実を再確認する必要性は。

【答】建築工事を担当した共同企業体とは別に工事監理者によって適切な工事施工の報告を受けている。更に建築士の資格を持つ本市の監督職員の

随時の現場立会いや書類確認により適切な工事施工を確認している。

用語解説

【注1】基準財政需要額
地方自治体が行政事務を遂行するために必要な経費を国の基準に従って計算したものの。

【注2】トレイルカメラ
乾電池で動作するデジタルカメラに赤外線感知センサーや暗視機能等が付加されたもの。熱を感知し、自動で録画を開始する。取り付け工事は不要で低価格。

【注3】再造林バンク
林業成長産業化地域の指定を受けた延岡・日向地域が創設する、植林から下刈りまでの費用を助成する制度。

【注4】避難者カード
災害時の避難所で自治体が発する避難者名簿のことで、避難者の状況や避難者数の把握に活用する。

【注5】浚渫/通減
浚渫とは、港湾・河川などに堆積した土砂などを取り除く土木工事のこと。
通減とは、時とともに少しずつ量が減ること。

議会活動報告会を開催!!

市議会では、10月に北方地区・北浦地区・北川地区・南浦地区・島浦地区・川中地区の6カ所にて議会活動報告会を開催し、合計98名の皆様に参加いただきました。

報告会では、議員による9月定例議会の報告のほか、質疑応答などを通じて、市民との意見交換を行いました。

報告会でのアンケート結果や意見交換会における参加者の声を一部紹介します。

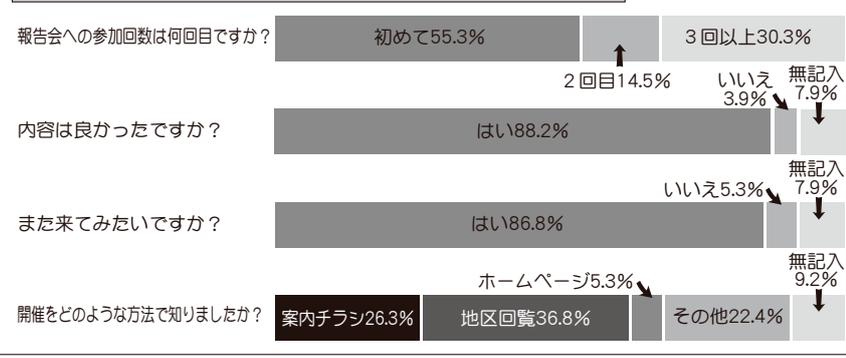


北方コミュニティセンター



ホテルの宿(北川町)

アンケート結果(概要)76人より回答



アンケートでの意見

- 初めて参加したが、次回も参加したいと思う。
- 報告会では詳しい報告をいただき、議会活動の理解を深めさせていただいた。
- 区長以外の多くの人に来てもらうような努力をしたらどうだろうか。せっかくの良い機会なのでもったいない。
- この報告会のPRをもっとして人を集めるべきだと思う。
- 台風18号など災害のテーマがあると良かったと思う。
- 延岡市の人口減少について、他県や他市に出ていかないうような対策を早急にしてほしい。

議会活動報告会



今後も見直しを加えながら開催していきますので、皆さまぜひご参加ください。

哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします

故 矢野仁祺氏を悼む



元市議会議員の矢野仁祺氏が去る11月1日に78歳で

ご逝去されました。

矢野仁祺氏は、平成11年に北川町議会議員に初当選され、8年間町議会議員を務められた後、合併後の平成19年に延岡市議会議員選挙に当選し、福祉教育委員会委員長などを歴任され、本市の発展に多大な貢献をされました。

故 矢野戦一郎氏を悼む



元市議会議員の矢野戦一郎氏が、去る11月6日に72歳

で逝去されました。

矢野戦一郎氏は、平成15年に北川町議会議員に初当選され、4年間北川町議会議員を務められた後、合併後の平成19年に延岡市議会議員選挙に当選し、都市建設委員会や総務財政委員会の委員長、また、議会選出の監査委員などを歴任され、本市の発展に多大な貢献をされました。

編集後記

今年、年頭から市長選で幕を開ける訳ですが、先ずは勇退を表明している首藤市長においては、三期十二年に渡る市政の舵取り本当にお疲れ様でした。

東九州バス文化構想やエンジン01文化戦略会議誘致など個性的な取り組みを始め、ハード面では、合併特例債を駆使し、新庁舎を始めとして次々と大型事業に着手推進してきました。

この号が発行された時は、すでに新市長が誕生していると思いますが、二元代表制の一翼を担う議会としても、ともに議論を重ね、新しい延岡市を築いていければと考えております。

